

ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり



栃木市

教育委員会だより



発行責任者：栃木市教育委員会

委員長 後藤 正人

住所：栃木市万町9-25

電話：0282-21-2461

FAX：0282-21-2689

Email：kyoumu@city.tochigi.lg.jp



一番に聞いてみたいこと

委員長 後藤正人

職場の同僚であり、私の大切な友人に生まれつき耳の不自由な人がいました。心底からわき出る彼の笑顔には、周りにいる人の心を芯から癒やしてくれる素晴らしいパワーがありました。彼は、生まれた時から音のない世界で生活していたので、この世に音があるという事を知りません。人間が言葉を発せるようになるには、赤ちゃんの時から、周りの人の話し方やいろいろな音を聞き、それを真似しながら舌の動かし方や声の出し方が上手になり、やがて難しい言葉でも話せるようになるのです。ところが、彼は真似をするにも音が聞こえませんし、自分の出している声も全く聞こえないのです。ですから、小さな頃は声を出して泣くことも、しゃべることもほとんどできなかつたそうです。三歳になって、耳の不自由な子が通う幼稚園に入り、初めて声の出し方を学習しました。小学校では身振りサインの勉強をし、中学校では手話の学習をしました。そんな学びを重ねていくうちに世の中には、様々な音があり、声もあるのだということに気付いていきました。その後、いろいろな訓練を通して、たどたどしいなが

らも『あ・り・が・と・う』や『お・か・あ・さ・ん』と言えるようになったと言います。

ある時、『もし耳が聞こえるようになったら、一番に聞いてみたいのは？』とメモで尋ねてみました。すると、今までみたこともない真剣な顔でじつと考えた末、『か・あ・さ・ん・の・声！』と、満面の笑みで答えてくれました。彼は、生まれてから一度も母親の本当の声を聞くことができなかったのです。

彼は、自分を心配する周りの人に対して、『耳が聞こえないだけだから、自分はすごい幸せ！』と言い切り、『○○さんこそ、お体を大事にしてください』と、いつも相手の健康を気遣う慈悲と愛に満ちた人でした。そんな彼が仕事以外に好きだったことは、職場の仲間とカラオケに行つて、みんなで歌うことでした。きつと今もどこかで、いつも聞かせてくれた『上を向いて歩こう』を笑顔で歌っていることでしょう。

精一杯生き抜き、春風のように通り過ぎていった彼の短すぎる生き様から、多くの尊いことを教えられました。私たちは、小さな頃から様々な個性をもった人たちのかわりの中で、生き抜き力と知恵を身に付けてきました。そこで、周りの人やあるがままの自分の存在に感謝の気持ちをもつとともに、『働く』という本来の意味である「人の幸せのために動く」人でありたいと願っています。まもなく、三月三日「耳の日」を迎えます。

教育委員会定例会議

平成25年8月～12月
会議一覧より、抜粋

- 8月26日(月) ○協議第11号 寺尾小学校における児童の通学手段等について
○協議第12号 栃木市文化振興推進制度実施要綱の制定について
- 9月30日(月) ○議案第45号 栃木市生涯学習振興計画策定委員会委員の委嘱について
○協議第13号 平成25年度栃木市教育祭について
- 10月18日(金) ○協議第20号 栃木市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について
○協議第22号 とちぎ蔵の街美術館条例の一部を改正する条例の制定について
- 11月25日(月) ○協議第25号 平成26年度教育予算について
○協議第27号 とちぎ未来アシストネット推進委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 12月16日(月) ○議案第49号 栃木市教育委員会行政組織等規則及び栃木市公園施設等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
○協議第28号 栃木市文化会館運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について



定例会議は、公開を原則としており、「広報とちぎ」で、日程をお知らせしています。一度見学してみませんか。



教育委員会定例会議一週間前、分厚い会議資料が届く。誰がまとめてくれたのか、いつものことながら、頭が下がる。

定例会議当日、議題は豊富だ。会議中、各教育委員の意見、質問、愚問に対し、教育委員会事務局代表者の丁寧で簡潔な答えが返ってくる。彼らが答えられなかったことは、私の記憶ではない。専門家としての自負と日々の努力を感じる。

今、栃木市の教育委員会事務局には、彼ら事務局代表者のもと、200名近いスタッフがいます。他に、地域に根ざして協力してくれる人たちも多い。

毎日、通学路に立ったり夜間パトロールをしたりし、子どもたちの安全を見守ってくれている方々、地域、保護者と子どもたちをつなごうと親子レクを実施している団体、スポーツ競技の計画や運営をしたり、誰もが気持ちよく集えるよう文化施設をきれいにしたり……。その役割は様々であるが、彼ら一人ひとりがそれぞれの場で熱心に働いているからこそ、子どもたちも私たちも明日の栃木市に希望がもてるのではないだろうか。

栃木市の教育は、こうした多くの人々の誠意や善意によって支えられている。



福島委員

教育委員会の活動

教育委員会は、栃木市ならではの教育を推進するため市民の皆さんと一体となって様々な教育活動を実施しています。

教育祭

栃木市の教育に対する意識の高揚と教育尊重の気運を高めるため、栃木市では毎年教育祭を開催しています。

今年度は、平成24年11月16.17.18日の3日間、栃木文化会館で開催しました。



筑比地職務代理

11月18日に、多くの参加者のもと、教育祭式典が開催され、児童生徒・社会教育等で功労のあった方々が表彰を受けられました。

これからも「教育の街・栃木」にふさわしい有意義な行事になるよう努めて参りたいと思います。



学校訪問

教職員と教育活動について話し合い、児童生徒の活動の様子を見学することで、教育現場の実態をしっかりと把握しています。

本年度は10校を訪問しました。どの学校も地域の特色を生かした学校づくりを行っており、地域社会との信頼関係が築かれていることを実感しました。

子どもたちとの会食も楽しみの一つで、くったくのない笑顔が、最高のごちそうであり、楽しくふれあえる時間でもあります。



荒川委員

地域の活動に参加してきました！

まるまるまるごと つがまつり 2013



「まるつがまつり」に行ってきました！

11/17(日) 9:00から栃木市都賀文化会館(ハートホール)前を中心に各地区の郷土芸能やダンスとたくさんの模擬店が出て多くの人たちが集まりました。私も年に一度の献血の後、花の種を配るお手伝いをしてきました。

たくさんの笑顔に出会い、とても楽しいひとときでした。



若林委員

都賀地域が一丸となって、ふるさとを盛り上げるお祭りです。今年もたくさんの方が参加し楽しみました。

栃木市の教育の方向

栃木市教育計画(2)

栃木市では、地域の教育力を高め、地域ぐるみで子どもを育てる新たな教育システムとして、

「とちぎ未来アシストネット」を展開しています



水はどの部分
にあげるの？

トマトは
どうなったら
収穫するの？



大平西小・野菜を育てよう

栃木市の観光を
盛り上げたくて、
参加しました。



栃木西中・観光ボランティア活動

ご苦勞様。
ありがとう

「とちぎ未来アシストネット」の展開により、子どもからお年寄りまで世代を超えた出会いやコミュニケーションの機会が得られます。

人と人、地域と地域の絆を固く結び、ふるさと栃木の未来を担う子どもたちを育成します。

教育長のひとこと

栃木市定例校長会での話から(抜粋)

「仕上げの冬の3学期」がスタートした。‘張り切る春’に向け、一人一人に確かな‘節’を形作る時である。〈卒業〉が大テーマのそれぞれの‘有終の美’に、各校の確かな‘手綱捌き’を大いに期待する。今や難問山積の学校だが、「すべては子どもの成長のために」その一点で結束しての取り組みをお願いしたい。

さて、今年は4月に統合小学校の「寺尾小」が誕生し、岩舟町の小中5校が加わる。本市教育も新たな時代を迎えるが、‘ふるさとの風土で育む人づくり、まちづくり’の旗印の下、今後とも、教育計画に基づき、山本有三の精神を根幹に据えた‘文教都市’に相応しい、本市ならではの教育を着実に推し進めていきたい。よろしくお願いします。(赤堀 明弘)

【編集後記】

“教育委員会だより 絆”の発行により、市民の皆様に教育委員会の役割や活動内容をお知らせし、いっそうの、開かれた教育委員会を目指します。

※ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください。

栃木市教育委員会教育総務課

栃木市万町9-25

電話：0282-21-2461